

平成29年度学校保健表彰（文部科学大臣表彰）について

1 表彰の趣旨

学校保健の普及と向上に尽力し、多大の成果をあげた個人・学校・団体を文部科学大臣が表彰します。

2 本県の被表彰者

①学校保健関係（個人）

学校医

佐野 貞彦（さの さだひこ） 元 桜井市立桜井西中学校

35年の永きにわたり、桜井市立桜井西中学校の学校医として、生徒の心身の健康増進のために尽力し、学校保健の発展向上に大いに貢献した。

平成2年より、12年間、桜井地区医師会の理事、副会長、会長を歴任し、医師会活動を通じ、学校保健の充実、推進に尽力し、児童・生徒の心身の健康増進に大いに貢献したことによる。

学校歯科医

小池 恭弘（こいけ やすひろ） 元 奈良市立大安寺西小学校

36年の永きにわたり、奈良市立大安寺西小学校・大安寺西幼稚園の学校歯科医として学校保健の発展向上に尽力したほか、児童生徒の口腔衛生知識の普及啓発に積極的に取り組み、大いに貢献した。

奈良県歯科医師会の公衆衛生委員会委員、委員長として15年、理事等の役員として9年間各役職を歴任されており、奈良県の歯科保健活動の推進に大いに貢献していることによる。

学校薬剤師

石田 全功（いしだ まさのり） 天理市立丹波市小学校

昭和54年より天理市立丹波市小学校及び丹波市幼稚園の学校薬剤師を38年間、また、昭和56年からは天理市立北中学校夜間学級を担当し、永きにわたり、学校薬剤師として、幼児児童生徒の保健管理、並びに学校環境衛生の向上に努めてきた功績は顕著である。

また、昭和61年より奈良県学校薬剤師会理事及び天理支部長として、長年、支部内で指導的役割を担い、地域における学校保健活動の向上並びに児童生徒の健康維持に貢献している。

その他、学校保健関係の研修会には積極的に参加し、常に情報収集及び質の向上に努めるとともに、「全国学校薬剤師講習会」（奈良県大会）においては、実行委員並びに運営委員として、講習会の運営に尽力する等、学校薬剤師活動の推進にも大きく貢献したことによる。

②学校保健関係（団体）

五條市医師会（ごじょうしいしかい）

五條市医師会は、長年、学校現場と連携しながら、児童・生徒並びに教職員の心身の健康増進を図るため、学校保健に積極的に取り組んでいる。とりわけ、学校給食における食物アレルギーへの対応に関しては、対象児童生徒の顕在化、形態の多様化等により、より事故を未然に防ぐための体制づくりが必要として、医学的見地に立った支援体制の必要性に鑑み、専門的な助言や指導等を行った。また、より実践的で緊急対応を可能とする充実した体制づくりを実現した。

このように、五條市医師会は、医師会・学校・行政・保護者といった市全体としての組織的な体制づくりの構築や『五條市学校給食食物アレルギー対応検討委員会設置条例』の制定においても多大な貢献をしたことによる。

3 表彰式

日 時 平成29年11月16日（木）

会 場 三重県総合文化センター
三重県津市一身田上津部田1234

備 考 「平成29年度全国学校保健安全研究大会」において表彰式が行われた。